

報道関係各位

一般社団法人日本オーディオ協会

平成26年度 第19回「音の匠」顕彰

一般社団法人日本オーディオ協会（会長 校條 亮治）は、音楽、オーディオ、レコードなど「音」の文化について多くの人々に認識していただき、また音楽とオーディオ産業発展のために、一般社団法人日本レコード協会、一般社団法人日本音楽スタジオ協会などと共に、1994年に12月6日を「音の日」と決めました。

この12月6日は発明王トーマス・エジソンが1877年、世界で初めて錫箔円筒式蓄音機「フォノグラフ」を発明した日であり、音を記録し再生するオーディオの誕生日ということになります。

「音の日」の記念行事の一つとして、日本オーディオ協会は1996年より、「音」および「音楽」を通じて、文化創造や社会貢献に卓越した能力を持ち、実践している「個人」、また「組織」を「音の匠」として顕彰し、広く一般の方々に素晴らしい音の世界を認識していただく活動をつづけております。

第19回目にあたる本年度は、「イルカの生息域に依存する鳴き音の違い」など数々の発見や、「イルカの鳴き音によるコミュニケーション方法の研究」など、多くの論文を発表され、音とイルカの研究の第一人者である東海大学創造科学技術研究機構・特任講師 森阪 匡通氏を「音の匠」として顕彰いたします。

平成26年度「音の匠」

森阪 匡通（もりさか ただみち）氏

東海大学創造科学技術研究機構・特任講師
理学博士

以上

（添付資料）

1. 顕彰者プロフィール
2. 「音の匠」受賞者一覧

データ資料は報道関係者様専用ダウンロードサイトよりご利用いただけます。

アドレス <http://www.jas-audio.or.jp/press/>

